

第 11 回茨城放射線腫瘍研究会が開催されました
～当科病棟武石紗綾看護師が優秀演題賞を受賞～

県内の放射線治療や研究に従事する関係者で構成される茨城放射線腫瘍研究会の第 11 回大会がホテル東雲（つくば市）で開催されました。今回は当センターの佐藤勝技師長が大会長をつとめ、「放射線治療～その輝き～」というテーマで実施されました。

研究会では、放射線治療に携わる医師、看護師、技師ならびに研究者が日頃の診療や研究で見いだされた知見を関係者に共有、放射線治療という軸をベースに異なる視点から発表される演題にそれぞれが新しい発見ができる会となりました。

また、今回の優秀演題賞には当院看護部の武石紗綾看護師が発表した「放射線皮膚炎予防に対する病棟内の取り組みの変化とその効果」が選ばれ、食道がんの治療に伴うスキントラブルに対する病棟での取り組みが評価されました。

筑波大学の放射線治療チームは患者様にベストな治療を提供できるよう、今後もこうした勉強会などの活動に積極的に取り組んで参ります。



大会長の佐藤技師長（左）と武石紗綾看護師（右）